



佐渡ジオパーク

佐渡を世界遺産に

トキが舞う金銀の島 3億年の旅とひとの暮らし

悠久の時を刻む

佐渡の大地



ユネスコの正式プログラムになった「世界ジオパーク」 佐渡がまったく違って見えてくる「ジオパーク」って何だ？

私たちの足元には「大地」がある。

それはつまり「地球」であり、年齢は約46億歳といわれている。

私たちが100年生きたとしても、毎日見ている景色は大きく変わらない。

しかし地球の時間で見たら壮大でドラマチックな歴史が、まさに地層のように重なっている。

このダイナミズムを地球とともに共感できるのが「ジオパーク」、

佐渡を舞台に広がる世界なのである！

日本ジオパーク認定

悠久の時を刻む 佐渡の大地

「ジオパーク」とは「大地の公園」。
大地そのものがテーマパークだ。



大地や地球を意味する「ジオ」と公園の「パーク」からなる「ジオパーク」。1990年代にヨーロッパで始まった思想で、地質学的に価値のある地域を認定し、大地そのものをテーマパークにしようという考えだ。しかし、「ここは珍しい地層だからジオパーク」とは勝手に名乗れない。段階があつて、まず日本ジオパークに認定されないと世界ジオパークに登録申請できない仕組み。ちなみに日本のジオパークは右の地図にある

とおりだ。さらに全世界の世界ジオパークは38カ国140地域を超える。(平成30年9月現在)。佐渡は平成25年9月、日本ジオパークに認定された。ジオパークに認定されるには大地の価値だけでなく、インフラの整備はもちろん、地域がそれらを活用し、地球のなりたちや構造をいかに観光客に伝えるかも評価される。そのため、佐渡でも市民講座を開講するなど様々な取り組みが続いている。



● 佐渡の取り組み

ジオパーク 市民講座の開講

平成22年度から実施。「入門コース」やガイドを目指す「中級コース」などを設定。佐渡市民でなくても受講できる。

親子向け講座

夏休みを利用した親子向けのジオパーク体験企画。シーカヤックに乗り、普段は見ることができない海からの景色を見て、島のなりたちを考える。

調査・研究

島内の地質や地形、生物に関する調査を大学や関係団体と連携して行っている。

説明会・出前授業

ジオパークの理念や島のなりたちなど、事務局の学芸員やガイドがわかりやすく説明を実施している。

集落説明会

パンフレットの作成や市報によるジオパークの紹介、ホームページへの掲載など。また、郷土料理や特産品と関連づけた商品の開発にも取り組んでいる。

ガイドの育成

平成24年度からガイド養成講座を実施。お客様を安全に案内するスキルや、ジオストーリーを効果的に伝える練習を繰り返し行っている。

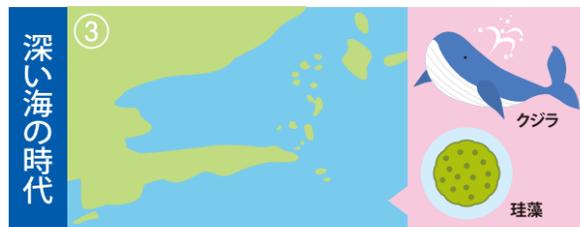
日本列島と佐渡島のなりたち



大陸の縁が割れ始め、大きな湖があったとされている。湖に落ちた葉や昆虫が化石として産出する。この割れた部分がのちの日本列島となり、将来佐渡になる大地も含まれている。



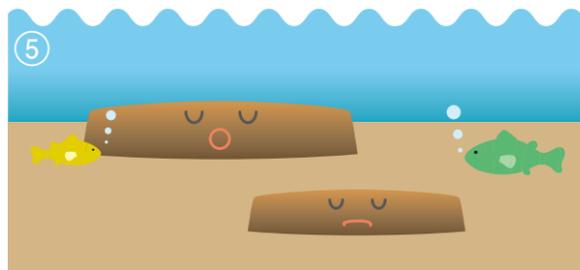
大陸の間には海水が流れ込み、暖かく浅い日本海が誕生した。マングローブ林やビカリアなどの巻貝が生息していた。



日本海はクジラが泳ぐような深く冷たい海へと変化していった。将来佐渡になる大地はほぼ海の底へ沈んでいたと考えられている。



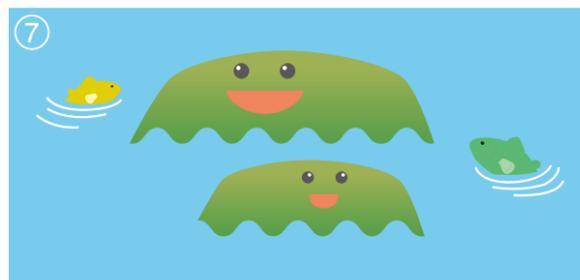
プレートの運動により、日本列島や佐渡が海の底から持ち上がった。この運動により、佐渡では1000mを超える金北山が形成され、平野では稲作が行われている。



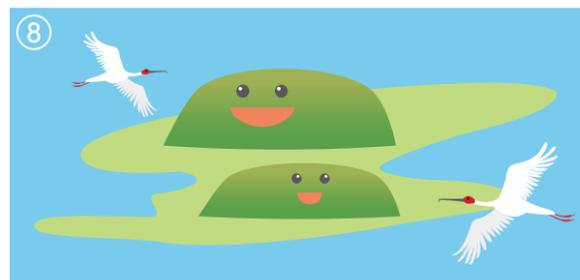
将来佐渡島になる大地は、海の底にあった（深い海の時代）。



大地に押される力が加わり、徐々に海の底から持ち上がった（隆起の時代）。



海の上に現れた大地は大佐渡、小佐渡の2つの島となった。



流れ出した土砂などで2つの島の間は自然に埋め立てられ、現在の形となった。

3億年の歴史を持つ 佐渡の大地の希少性。

では、佐渡の何が素晴らしいのだろう。日本海ができる前触れが起きたのが約3000万年前。佐渡のなりたち、足跡を島内各地に残る地層や岩石に見ることができ。さらに佐渡は様々な海岸地形がそろっており、あまり環境破壊も進んでいないので自然の状態が極めて良好！佐渡は日本の縮図ともいえる。島内の見どころを巡ることで佐渡の大地の魅力が学べながら他の取り組みの魅力も堪能できる。

佐渡は現在3つの取り組みを行っている。世界文化遺産登録を目指す「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」、「トキと共生する佐渡の里山」として国内で初めて認定されたGIAHS（世界農業遺産）、そして日本ジオパークの3つだ。それぞれの取り組みは別物ではなく、金や里山も大地の恵みそのもの。それぞれは大きく関係している。そして、現在の佐渡に暮らす人々の暮らしにも関連する。これらを肌で感じることができると、佐渡ならではの醍醐味だろう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



ユネスコの正式事業であるジオパーク。その根本には「未来のために地球の勉強をしよう！」という考えがある。例えば、東日本大震災のような千年に一度といわれる巨大地震は、経験しない人類の方が多いだろう。しかし46億歳の地球にとってはめずらしいことではない。地球の時間の中で生きるしかない人間は、もっと地球のスケールを知る必要がある。それが私たち人間を理解することにもつながるはず。ぜひ佐渡に来て大地と人の暮らしのつながりを実感してほしい！

佐渡で取り組む世界的認定事業

世界文化遺産 (登録推進中) 佐渡を世界遺産に
「ジバング」最大の金銀山。
2010年11月、世界遺産暫定リストに登録されました。



おおぼんみやく 青盤脈の岩壁 / 相川鉱山で一番の含金石英脈で東西方向に長さ2,100m、平均の脈幅6m、深さ500mの規模をもっていた。

GIAHS (世界農業遺産) パートナシップで世界農業遺産に
「トキと共生する佐渡の里山」が日本では初となる
世界農業遺産(GIAHS)に2011年6月に認定されました。



若首昇電棚田 / 大昔の地すべり地を利用して作られた棚田では現在も農業が受け継がれている。



写真は対岸(真野)から撮影したものです。



6 沢根崖
約300万年前から隆起していく中で、島の周りの海底に土砂が積み、きれいなしま模様の地層ができた。貝の化石から当時寒い気候であることがわかる。
※見学の際は特にご注意ください。

7 椿尾の石切場
ここから切り出された岩石は、真珠のような構造で加工しやすく石仏などが作られた。島の各地で見られる石仏の多くは、この地の岩石で作られたもの。



8 潜岩
この岩は海底火山の噴火で流れ出した溶岩が海中で固まってできたもので、網目模様が特徴の1つ。枕のような楕円の形から「枕状溶岩」と呼ばれる。



9 南蛮エビ
前浜海岸エリアの海底は、海岸から急に深くなるため、水深300~600mに生息する南蛮エビの宝庫となっている。



10 姫埼灯台
鉄製灯台としては日本最古のもので、歴史的・文化的価値の高い建造物として、国際航路標識協会による「世界各国の歴史的に特に重要な灯台百選」に選ばれている。

- 1 海府北部エリア**
1億年以前の古い岩石・地層と雄大な海岸美が見られる。
- 2 海府南部エリア**
激しい陸上火山活動の様子、落葉広葉樹・針葉樹に囲まれた湖でできた化石がある。
- 3 大佐渡トレッキングエリア**
海底から3,000m以上隆起した大佐渡山地である。変化に富んだ佐渡の地形を一望できる。
- 4 国中平野・加茂湖エリア**
山地から流れ下る清流が穀倉地帯を形成している。
- 5 相川・金銀山エリア**
日本海誕生前の陸上火山活動にともなって形成された含金石英脈が見られる。
- 6 沢根中山峠エリア**
日本海の誕生から佐渡島誕生までの地層が連続している。
- 7 西三川・砂金山エリア**
約1,700万年前の日本海誕生直後の地層、暖流の生物の化石や砂金がある。
- 8 小木半島エリア**
日本海の海底に噴出した海底火山でできた岩石、小木地震の痕跡、段丘、隆起波食台が見られる。
- 9 前浜海岸エリア**
古・中生代の化石を含む巨大岩塊や海成層、マグマが地下深部で固結した花崗岩がある。
- 10 小佐渡北部エリア**
南東に急斜面、北西に緩斜面があり、地すべり跡を利用した棚田と生物相、そして、豊かな里山がある。

佐渡ジオパークの情報が得られる施設

佐渡ジオパーク推進協議会事務所
(佐渡島開発総合センター2階)
TEL 0259-27-2162
sado-geopark@city.sado.niigata.jp
https://www.sado-geopark.com/
両津港から車で約2分

佐渡観光案内所
ビジット・ジャパン案内所Free Spot
TEL 0259-27-5000
両津港佐渡汽船ターミナル待合室内

相川観光案内所
(きらりうむ佐渡内)
TEL 0259-74-2220
両津港から車で約45分

南佐渡観光案内所
(マリンプラザ小木)
TEL 0259-86-3200
両津港から車で約70分
小木港から車で約3分

佐渡市立佐渡博物館
TEL 0259-52-2447
両津港から車で約30分

佐渡に広がる大地の魅力。海や山など、その種類も多種多様です。普段素通りする何気ない景色も、その意味を知ると魅力が増してきます。「島のなりたちかわかるといっただけあって、実際見てみるとそのスケールに息をのむ場所ばかり。さあ、島内各地にあるサイトに足を運んでみよう！」
※現在各地のサイトの整備を進めています。場所によっては危険な場所もありますので、見学の際は十分注意してください。また、歩きやすい服装、靴での見学をお願いします。



百聞は一見に如かず！
佐渡の
サイト
に
行って
みよう！

どうして佐渡に金があるの？
日本海の底ってどこだろう？

海底火山って何？
佐渡なら地殻変動が体感できる！

1 大野亀
観光ミシュランガイド2ツ星の大野亀もマグマが冷えてできた岩石からなる岬。6月にはトビシマカンゾウの群落を楽しむことができる。



2 影の神
金北山の祠の影が映ることから、この名が付いたと言われている。溶岩が流れた跡が残っており、バームクーヘンのような模様が見られる。



3 大佐渡山地の天然杉
日本海から大佐渡山地を吹き上げる風は温度が下がり、天然杉が分布する標高700m以上で霧に変わる。この雲霧帯が杉にとってよく育つ条件となっている。



4 加茂湖
5000年前頃から、両津湾の奥に砂州がのび始め海から隔てられたことで加茂湖が誕生した。カキの養殖が盛んに行われている。



5 尖閣湾
映画『君の名は』のロケ地としても知られている尖閣湾の崖は溶岩が流れた跡がよくわかる。長い年月をかけて波の侵食作用で削られて現在のような切り立った地形になった。



ジオガイドと歩こう!

佐渡には、地球の活動がわかる素晴らしい風景が広がっています。
 ただ、その風景の中にある石ころや草花たちは、自らその素晴らしさを伝えることができません。
 ジオガイドと一緒に歩けば、何気ない風景の奥にある
 興味深いストーリーを聞きながら楽しい時間を過ごせます。

予算・要望に応じて
 ツアー企画できます。
 お気軽に
 ご相談ください!

お客様人数	ガイド数	ガイド時間			
		1時間以内	2時間以内	3時間以内	4時間以内
1～5人	1人	1,500円	2,500円	3,500円	4,500円
6～10人	1人	2,500円	4,500円	6,500円	8,500円
11～20人	2人	5,000円	9,000円	13,000円	17,000円
21～30人	3人	7,500円	13,500円	19,500円	25,500円

お問合せ先

佐渡ジオパーク推進協議会 事務局
sado-geopark@city.sado.niigata.jp



ACCESS アクセス

- カーフェリー
 新潟港～両津港…約2時間30分
 直江津港～小木港…約1時間40分
 - ジェットfoil 新潟港～両津港…約65分
- 佐渡汽船の運航状況はこちらをチェック



- 東京方面
 - 新幹線 東京～新潟…約2時間
 東京～上越妙高…約2時間
 - 高速道路 練馬IC～新潟中央IC…約4時間
 - 高速バス 池袋～新潟／池袋～直江津…約6時間
 - 飛行機 成田空港～新潟空港…約1時間5分
- 大阪方面
 - 新幹線 新大阪～新潟(東京経由)…約5時間
 新大阪～上越妙高(金沢経由)…約4時間
 - 高速道路 吹田IC～新潟中央IC…約7時間30分
 吹田IC～上越IC…約6時間
 - 高速バス 大阪～新潟…約10時間
 - 飛行機 伊丹空港～新潟空港…約1時間
- 名古屋方面
 - 新幹線 名古屋～新潟(東京経由)…約4時間
 名古屋～上越妙高(長野経由)…約4時間
 - 高速道路 小牧東IC～新潟中央IC…約5時間30分
 小牧東IC～上越IC…約4時間
 - 高速バス 名古屋～新潟…約7時間
 - 飛行機 中部国際空港～新潟空港…約1時間
 県営名古屋空港～新潟空港…約1時間30分

